

**講義録獺祭<sup>1)</sup>**

——長崎大学経済学部東南アジア研究所所蔵「長崎高等商業学校講義録」等目録——

阿部 安成

1 さきにわたしは、「夜に学ぶ—20世紀前期の長崎高等商業学校における1万2036人への実務者教育」（滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.144、2011年1月）と題した稿で、長崎大学経済学部東南アジア研究所（以下、東南アジア研究所、と略記する）が所蔵する「長崎高等商業学校夜学講習史料」の紹介をした。その後、2011年の5月に東南アジア研究所のスタッフからメールをいただき、書庫2層にある段ボール箱のなかからさらに長崎高等商業学校（以下、長崎高商、と略記する）の夜学講習史料が見つかったと教えられた。わたしもその箱を開けたはずなのだが、そのときはじっくりとなかをみる余裕がないまま調査を終えることとなり、それらに気づかなかったのだ。11点もの史料があらたにみつかったことは、長崎高商の夜学講習を理解するうえで、なによりのさいわいとなる。

なかなか史料をみにゆけないままとうとう年を越してしまい、東南アジア研究を訪ねたのが大学入試センター試験の翌日2012年1月16日だった。そのとき閲覧した史料の表紙に記された情報を示そう。

「大正十五年一月／第十八回／冬期／夜学講習願書／研究館」「昭和二年一月／冬季／第廿一回／夜学講習志願者／研究館」「昭和二年四月／春季／第廿二回／夜学講習志願者／研究館」「昭和三年九月／第二十六回／秋期／夜学講習志願者／研究館」「昭和九年五月／第

---

<sup>1)</sup> 本稿は2012年度経済学部学術後援基金助成「高等商業学校における語学教育と調査実習についての実証研究」と2012年度科学研究費補助金基盤研究（C）「20世紀前期の帝国日本における実学実践と教養主義をめぐる文化研究」（課題番号24520746）による成果の1つである。

四拾三回／春期／夜学講習志願者／研究館」「昭和九年拾月／第四拾四回／秋期／夜学講習志願者／研究館」「昭和十一年十月／第五拾回／秋期／夜学講習志願者／研究館」「昭和十四年五月／第五十八回／春期／講習志願者／研究館」「第七十四回／春期／夜学講習書類」「第七十五回／秋期／夜学講習書類」「昭和二十二年九月／第七十六回／春期／夜学講習学力検定証書原簿／研究所」——わかりやすく記すと、第 18 回冬季 1926 年 1 月、第 21 回冬季 1927 年 1 月、第 22 回春季 1927 年 4 月、第 26 回秋季 1928 年 9 月、第 43 回春季 1934 年 5 月、第 44 回秋季 1934 年 10 月、第 50 回秋季 1936 年 10 月、第 58 回春季 1939 年 5 月、第 74 回春季、第 75 回秋季、第 76 回春季 1947 年 9 月、となり、これらの時期の夜学講習史料があるとわかったのだった。

これらの綴がみつかったことにより、所在不明の夜学講習願書綴は、第 1 回（1920 年 7 月）～第 14 回（1924 年 10 月）、第 19 回（1926 年 5 月）、第 20 回（1926 年 9 月）、第 25 回（1928 年 5 月）、第 60 回（1940 年 1 月）、第 77 回（1947 年 10 月）、の 19 回分となった。

本稿は、長崎高商の全夜学講習日程と講義名などの情報を示すとともに、2012 年 9 月 13 日から 19 日までの訪崎調査において確認した講義録の残存を記録するものである。

**2** 前掲阿部「夜に学ぶ」において、長崎高商の夜学講習全体をまとめた記録として、表紙に「夜学講習一覧／研究館」と記された綴をとりあげた（仮史料番号 7-2：左 13。以下「夜学講習一覧表綴」とする）。「研究館」とは長崎高等商業学校研究館の略記で、この綴には「長崎高等商業学校」の名が印刷された縦罫紙が綴じられ、その 1 枚めには「長崎高等商業学校研究館」のスタンプが押されている<sup>2)</sup>。

---

<sup>2)</sup> 前掲阿部「夜に学ぶ」の記述をくりかえすと、この綴は瓊林会編『長崎高等商業学校長崎大学経済学部 70 年史』（瓊林会、1975 年）で参照されたことがある。その後の長崎高商研究や長崎高商史誌ではふれられもしなくなる。

余談を記すと、この研究館の建物は現在、「瓊林会館」の名称で登録有形文化財となっている。瓊林会とは、長崎高商から長崎大学経済学部へとつづく同窓会である。建物まえに設置された案内板によると、「この建物は、橋本汽船の社長であった橋本喜造氏より新築寄贈され、大正8年（1919）



11月23日に長崎高等商業学校の研究館として落成。昭和17年（1942）に大東亜研究所と改称された。原爆被害は比較的軽微で、昭和24年（1949）に長崎大学経済学部となった後、昭和47年（1972）老朽化により取り壊しが予定されたが、同年3月同窓会により窓枠、屋根および内装を改修し、「長崎大学瓊林会館」と改めた。〔中略——引用者による。以下同〕／玄関前に2本のオーダーを持つコンクリートのポーチ。イギリス積みの煉瓦と、楯石を戴く上げ下げ窓でつくる縦の線を強調した赤と白のコントラストが概観に印象的な表情をもたらしている。シャンデリアなど被爆前の調度品も残っている。長崎市内の明治後期から大正初期の近代建築物の多くが解体された今、瓊林会館は長崎の往時の繁栄を象徴する数少ない貴重な文化財である」と評価されている。



わたしの記憶では以前はこの建物のなかには入れなかったはずだ。2012年9月訪崎時にはこの旧研究館館内に入れて、1階右手の部屋にひろがる展示をみることができた。かつて

のキャンパスのようすをあらわしたジオラマや、高商生の出身学校のバッヂなどがならべてあった。ちょっとした長崎高商史展示室となっている。この建物は竣工当時もいまでも、正門を入れて西山川にかかるこまねき 拱橋を渡った正面に位置している。

現在の長崎大学経済学部片淵キャンパスには、瓊林会館、拱橋（石造単アーチ橋、1903年架設）、経済学部倉庫（旧長崎高商倉庫、煉瓦造 2 階建、1907 年竣工、「高商創立当時のもので現存する唯一の建物」）と 3 件の登録有形文化財がある。

**3** 長崎高商研究館が作成した「夜学講習一覧表綴」に綴じられた縦罫紙には、夜学講習の回数、科目名、職名、講師名があり、申込者、許可者、習了者、検定合格者、卒業者の人数などが記録されている。ここからわかる全夜学講習の情報を、後掲の一覧表「長崎高等商業学校夜学講習実施記録表」に示した。

前掲阿部「夜に学ぶ」に記したとおり、夜学講習は、研究館が主催して春、秋、冬に開講され、それぞれの期に 3 科目の講習が 10 回ずつおこなわれ、1 回の授業時間は 2 時限で 1 時限 50 分となっている。

定期講習者の資格は、中等学校の卒業者、または長崎高商が適当と認めたもので、講習志望者は講習願書および履歴書を提出する必要がある。この講習願書と履歴書が表裏 1 枚になった文書の綴が本稿にいう夜学講習史料の大部分となる。講習終了時に講習精勤者には講習証書が授与される。講習証書があり、かつ講習科目について学力検定をうけようとするものはさだめられた期日に実施される試験を受験し、その合格者には検定証書が授与され、15 科目以上の検定証書をもつものに講習卒業証書がさずけられる。

講習料は、1 科目 1 期につき 2 円、2 科目 1 期で 4 円、3 科目だと 1 期 5 円と少し割り引かれている。講習卒業証書を得るには、少なくとも  $15 \text{ 科目} = 3 \text{ 科目} \times 5 \text{ 期} = 5 \text{ 円} \times 5 = 25 \text{ 円}$  かかる。この当時の長崎高商の授業料は 1 学年 35 円だった。それよりも安い学費で予感講習の卒業証書が得られたこととなる。

夜学講習創設当初は、かなりの申込者数があったがそれもだんだんと落ち着き（ただし1934年春季開講分からこの数値が消える）、おおよそ一定数の許可者=受講者をうけいれていたようだ。習了者数/検定合格者数=合格率は少しずつ上昇する傾向があるが、これは科目によってもかなり異なっている。合格率が最も低い科目は、97名が受講してそのうち67名が習了したなかで合格者0となった「哲学概論」（1924年4月開講）で、他方で、習了者17名のすべてが合格した「露西亜事情」（1934年5月開講）が合格率100%となった。

1944年秋季から1946年冬季までの5期にわたって夜学講習は開講されず、第二次世界大戦後に再開された1946年春季と秋季、1947年春季の許可者=受講者の人数はかなり多く、なかでも「労働組合問題」（1946年10月開講、河野吉男教授担当）は、夜学講習全期間をつうじて最も多い245名の許可者数となった。河野吉男は、以前は「日本産業論」（1943年5月開講）、「商業政策」（1941年5月開講）、「本邦貿易政策論」（1939年5月開講）、「貿易政策論」（1937年5月開講）、「独逸経済状態」（1935年5月開講）、「国際経済問題」（1934年5月開講）、「関税政策」（1932年5月開講）を担当した教官だった。

**4** 東南アジア研究所の書庫には、長崎高商の講義録がある。旧制の高等商業学校をその母体とする国立大学法人経済学系学部の資料所蔵機関で、かつての高等商業学校のときの講義録を所蔵しているところは、この東南アジア研究所くらいではないだろうか。これまでわたしが調査をおこなった小樽商科大学、一橋大学、横浜国立大学、富山大学、神戸大学、山口大学、大分大学、長崎大学のなかで、わたしは東南アジア研究所でのみ講義録をみた（もっともいくつかの大学では悉皆調査をおこなっていないが）。

かつての調査のときと東南アジア研究所書庫のようすがいくらかかわっていたようなので、ここであらためて2012年9月時点での現状を記すと、東南アジア研究所の書庫2層、右側の書架列、奥から3つめの通路左側、通路から2つめの連5段すべてに講義録が配架されている。ただしこの連には講義録以外の冊子や綴もいくらかある。それらについては

またべつの機会に公開予定の目録に収録するとして、ここではほぼ講義録のみの情報を示すこととした。この一群の史料を「長崎高等商業学校講義録」とよぶこととする。

この書架を初めてみたときわたしは、そこに講義録があることに驚いた。さきにも記したとおり、ほかの高商の史料群のなかに講義録をみたことがなかったからだ。書架にならぶ厚い板紙つきの紐綴じ綴は、その多くがガリ版の刷りもので、表紙や背表紙に白い塗料で「植民政策」などと講義名とおぼしき文字が書かれていたので、すぐに講義録だとおもった。そのいくつかを手にとってみてゆくと、さらに「統計学講義 昭和十二年度」「国際公法 講義案」などの表記もみえたので、それらはまちがいになく講義録だった。

もっともこれらが夜学講習のそれだとはすぐにはわからなかった。東南アジア研究所書庫にあった段ボール箱の整理をさきにおこなうこととし、そのなかから長崎高商の手稿文書がみつき、その目録をつくる過程で夜学講習史料にふれ、それから判明した夜学講習の回数、講義名、担当教員名と講義録の記載事項とをつきあわせることで、それらが夜学講習の講義録とわかったのだった。もっとも、仔細に講義録の綴をみてゆけば、「民法総論 第四十四回秋期夜学講習用」との表記にもゆきあたったのだが。

後掲の「長崎高等商業学校講義録」等目録で、「夜間講習開講期」の欄に「45 冬 1935 年」や「44 秋 1934」と記した。前者は第 45 回 1935 年冬季開講の講義録と推定したこと、後者は第 44 回 1934 年秋季開講の講義録であるとの情報が得られたこと、をあらわしている。またおなじくのちに掲げる「長崎高等商業学校夜学講習実施記録表」では、第 1 回から第 77 回までの夜学講習において、その講義録があるばあいは●、その講義録と推定できるものがあるばあいは▲、ないばあいは\*をつけた。

**5** 講義録の残りぐあいは、1910 年春季から 1926 年冬季まで（第 1 回～第 18 回）の講義録がまったくなく、1931 年から 1943 年までの講義録がいくつかの欠落がありながらもまとまって残っていて、1943 年春季から 1947 年秋季（第 70 回～第 77 回）までの講義

録もまったくない。講義録がまったく残っていない時期に講義録がつけられたのかわかも、いまのところよくわからない。

これらの講義録は、いくどかの整理を経て、現在の配架となったのだろう。厚板紙の表紙に夜学講習の情報が記されているかどうか、整理の時期の違いによるようにおもう。また、後掲目録の「筆記、体裁」の項に「修了」「講習」と記した講義録は、厚板紙の表紙がついてなく、そのかわりに夜学講習の「修了証書」や「講習証書」を裏にして表紙の代用とされている（「厚紙」は厚板紙表紙のついた綴、「紐綴じ」は表紙なしの綴）。

夜学講習講義録のなかにも、表紙のみ活版刷りだったり製本されていたりする冊子があるものの、そのほとんどがガリ版刷りの紐綴じ綴となっている（英文はタイプ印刷）。そうした夜学講習講義録が配架されている書架には、いくつか活版刷りで、かつ製本された冊子もある——たとえば、『民法講義案（一ノ一）』（堀部靖雄）、『社会学序説（第一部）』（不破祐俊）、『商法総論 昭和九年度講義』などがそれである。それぞれの裏表紙見返しに、順に、「230部／献10／原価23銭／売価25銭／岩永秀文舎／昭和6年9月」、「昭和7年4月／3年選択／山田組／製200／売@25銭」、「昭和9年4月／3年生／製本260部@35銭52（献10）／売価40銭」と手書きで記されている。

さきの「夜学講習一覧表綴」をみると、1931年9月に民法、1932年4月に社会学、1934年3月に商法は開講されていない。他方で、『教授要目／昭和六年度／長崎高等商業学校』には第1学年、第2学年むけに堀部による「民法」があり、そこに「プリント使用」と記され、また、『教授要目／昭和七年度／長崎高等商業学校』にある「選択学科目（第三学年）」のなかに不破の「社会学」がみえるので、こうした活版印刷製本の講義録は、夜学講習ではなく本科のそれと推測できる。

講義録が配架された書架には、おそらく講義録同様に教官の著作物として論文抜刷などもなっている。講義録とはべつに講義の参考書などに使われたであろう冊子や、『昭和十二年八月 長崎高等商業学校図書館要覧』や『昭和十一年八月 長崎高等商業学校研究館概況』などもこの書架にあり、そうした文献もひとまずこの後掲目録に収録した。

## 長崎高等商業学校夜学講習実施記録表

厚板紙の表紙がついた紐綴じ綴の表紙には、白塗料で「夜学講習一覧／研究館」と記され、そこに綴じられた罫紙には「長崎高等商業学校」と印刷されている。綴じられた最初の罫紙には、「長崎高等商業学校研究館」の縦長スタンプが押されている。罫紙の項目は順に、回数、科目、職名、講師、申込者、許可者、習了者、検定合格者、卒業者となっていて、それが第1回から第77回まで記載されている（ただし、申込者数は第42回まで）。それぞれの回の最後に、開講年月日、講習証書授与式の開催年月などが記され、また、申込者以下の数字の積算合計が赤色で記入されている。

罫紙の枠外余白などに記された情報を後掲の表に転載できなかつたので、それをここに載せる。

第39回記載事項のあと、「受講者実在人員ハ39回迄ニ一、四一七名ナリ。」

第42回記載事項のあと、「受講者実在人員ハ42回迄に一、四九三名なり。」ただし2本の取り消し線が引かれている。

第45回記載事項のあと、「受講者実際人員45回迄一、五一三名（昭、十、三、五、カードにより調査）ただし「一、五一三」の「三」が「二」に修正されている。

第46回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一五五〇名」

第47回記載事項の最下段、「受講者実際人員／イキー五八〇名／一五九七名」ただし人数はどちらも取り消し線が引かれている。

第48回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一、六一四人／（内女六七人）」

第49回記載事項の最下段、「検定合格者実際人員／四九二人／受講者実際人員／一、六八五／（内女七・一）」

第50回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一、七一八／（内女七一）」

第51回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一、七四〇／（内女七一）」

講義録瀬祭



第52回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一八一六人」

第53回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一八七八人」

第54回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一八九八人」

第55回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一九三三人」

第56回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一、九六一人」

第57回記載事項の最下段、「受講者実際人員／一、九九九人」

第58回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、〇六一人」

第59回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、一〇五人」

第60回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、一三一人」

第61回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、一八二人」

第62回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、二二六人」

第63回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、二六六人」

第64回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、三五四人」

第65回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、三九五五人」

第66回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、四七一人」

第67回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、五一四人」

第68回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、五六七人」ただし「七」を「八」に

修正

第69回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、六三三人」

第71回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、六九三人」

第72回記載事項の最下段、「受講者実際人員／二、七一三人」

欄内の第77回記載事項のもっとも左の項に記された全講習の総計は、許可者数（ただしここでは「受講」と鉛筆書きされている）12,036人、習了者数（ただしここでは「修了」と鉛筆書きされている）9,044人、検定合格者数4,278人となっている。

上記のとおり第72回までであった受講者実際人員の記載は、申込者数と許可者数とが異な

っていることにくわえて、許可者数と受講者実際人員も違っていたことをあらわしている。だがどういうわけか第 73 回以降は受講者実際人員が記されなくなり、最後には許可者と受講者の数も混同されてしまったようだ。

さて、さきにあげた「夜学講習一覧表綴」に記された全講習の総計はまちがっていた。正しくは、全許可者数は 12,040 人、全習了者数は 9,047 人、全検定合格者数は 4,285 人となる。全卒業生数は第 72 回の欄にあったとおり 123 人となる。

したがって、さきに執筆した滋賀大学経済学部 Working Paper Series No.144 の「夜に学ぶ—20 世紀前期の長崎高等商業学校における 1 万 2036 人への実務者教育」の副題にある数値もまちがっていた。「夜学講習一覧表綴」の許可者数の積算が途中でまちがっていることに気づいていたのだが、どういうわけか同綴中でつじつまあわせがおこなわれ、総計の数値はあっているものと勘違いしていた。ここに「夜学講習一覧表綴」に記された許可者数をきちんと計算すると、その総計は 12,040 人が正しいことを明記するとともに、他方で、前掲稿の副題にある数値は「夜学講習一覧表綴」に記された総数であることを断ったうえで、論題はそのままとする。

#### 「長崎高等商業学校講義録」等目録

これについてはすでに記したとおり、東南アジア研究所書庫の 2 層に書架に配架された長崎高等商業学校刊行物などのうち、夜学講習講義録と本科講義録などをここに載せた。ここにとりあげなかった刊行物や手稿綴、また段ボール箱におさめられた長崎高等商業学校から新制長崎大学経済学部初期の手書き文書などについては、またべつの機会にそれらの目録を公表することとする。

回数	年/季	実施年月日	科目	職名、講師	申込者数	許可者数	習了者数	検定合格者数	合格率(%)	卒業者数	講義録	備考
1	*	開講大正9年6月17日	応用経済学	山本祐作教授	128	51	45	12	26.7	*	*	
		*	簿記及会計学	川口酉三教授	117	50	39	4	10.3	*	*	
		講習証書授与式7月	英文商業通信	山崎宗直教授	77	41	25	6	24.0	*	*	
2	*	開講大正9年11月10日	経済原論	山本祐作教授	83	69	46	12	26.1	*	*	
		*	銀行簿記	川口酉三教授	60	54	36	5	13.9	*	*	
		講習証書授与式12月	商業英語	馬場誠教授	53	46	27	9	22.2	*	*	
3	*	開講大正10年1月24日	商法	鈴木弼教授	54	52	43	6	14.0	*	*	
		*	財政学	森文三郎教授	54	54	44	11	25.0	*	*	
		講習証書授与式3月	商業通論	飯田静次郎教授	46	43	32	8	25.0	*	*	
4	*	開講大正10年4月28日	日本会社法	鈴木弼教授	52	51	45	11	24.4	*	*	
		*	日本近世商業史	川島元次郎教授	41	40	37	7	18.9	*	*	
		*	民法	江口重国教授	67	59	50	7	14.0	*	*	
5	*	開講大正10年10月20日	交通論	武藤長蔵教授	30	30	27	10	37.0	*	*	
		*	債権総論	江口重国教授	44	44	35	1	2.9	*	*	
		*	銀行論	青地玄三郎教授	36	34	26	6	23.1	*	*	
6	*	開講大正11年1月26日	重要商品学	浅野金兵衛教授	35	35	28	12	42.9	*	*	
		*	近時国際経済問題	田崎仁義教授	58	57	44	9	20.5	*	*	
		*	保険論	馬場誠教授	44	44	33	12	36.4	*	*	
7	*	開講大正11年5月1日	経済原論	森文三郎教授	54	51	36	9	25.0	*	*	
		*	海外経済事情	下田礼佐教授	50	47	40	10	25.0	*	*	
		講習証書授与式大正11年6月12日	商業簿記	青地玄三郎教授	35	33	22	10	45.5	*	*	
8	*	開講大正11年10月23日	東洋経済事情	下田礼佐教授	53	52	44	11	25.0	*	*	
		終講大正11年11月28日	商業簿記	青地玄三郎教授	21	21	14	3	21.4	*	*	
		講習証書授与式大正11年12月6日	外国実践	デイ、エ、デビス講師	28	28	20	9	45.0	*	*	
9	*	開講大正12年1月25日	経済史と文化史	田崎仁義教授	57	55	50	19	38.0		*	
		終講大正12年2月28日	英語通信文	田村一教授	30	29	21	12	57.1	3	*	=長に省
		講習証書授与式大正12年3月5日	民法大要	新田孫三郎講師	70	58	43	18	41.9		*	
10	*	開講大正12年5月17日	統計学	前田稔靖教授	70	65	48	7	14.6	*	*	
		終講大正12年6月20日	英語	浦瀬七太郎教授	60	59	40	13	32.5	*	*	
		証書授与式大正12年6月28日	商業通論	高畑得四郎教授	45	42	30	8	26.7	*	*	
11	*	開講大正12年10月18日	海外経済事情	下田礼佐教授	46	44	31	7	22.6	*	*	
		終講大正12年11月21日	マネーマーケット論	川口酉三教授	46	45	36	7	19.4	*	*	
		証書授与式大正12年11月26日	財務数学一斑	山本恭次郎助教授	40	40	28	3	10.7	*	*	
12	*	開講大正13年1月24日	海上保険論	今村有教授	30	29	25	2	8.0		*	
		終講大正13年2月28日	商品学	浅野金兵衛教授	17	17	13	9	69.2	3	*	
		証書授与式大正13年3月3日	平時国際公法	阿部三四教授	43	41	27	1	3.7		*	
13	*	開講大正13年4月28日	英語	青木道教授	60	55	24	3	12.5	*	*	
		終講大正13年6月2日	平時国際公法	阿部三四教授	47	43	28	1	3.6	*	*	
		証書授与式大正13年6月9日	哲学概論	岸興詳教授	112	97	67	0	0.0	*	*	
14	*	開講大正13年10月13日	経済学史	武藤長蔵教授	58	55	39	5	12.8	*	*	
		終講大正13年11月18日	商工経営論	馬場誠教授	57	55	47	9	19.1	*	*	
		証書授与式大正13年11月24日	英文商業通信	鳥居助三教授	42	39	26	4	15.4	*	*	
15	1925年冬季	開講大正14年1月22日	経済地理	中野竹二郎教授	65	54	44	13	29.5		*	
		終講大正14年2月26日	取引所論	青地玄三郎教授	55	45	35	11	31.4	2	*	
		証書授与式大正14年3月2日	商法手形篇	島本英夫教授	68	53	42	12	28.6		*	
16	1925年春季	開講大正14年5月18日	経済史	田崎仁義教授	73	66	59	14	23.7	*	*	
		終講大正14年6月20日	民法総則	堀部靖雄講師	86	75	53	16	30.2	*	*	
		証書授与式大正14年6月25日	植民政策	前田稔靖教授	48	43	36	14	38.9	*	*	
17	1925年秋季	開講大正14年9月28日	税関及倉庫	谷口恒三講師	75	65	50	19	38.0	*	*	
		終講大正14年11月5日	外国為替	青地玄三郎教授	84	70	46	12	26.1	*	*	
		証書授与式大正14年11月16日	英語書翰文	田村一教授	54	54	33	8	24.2	*	*	=長に省

18	1926年冬季	開講大正15年1月18日	英語英文学	伊東勇太郎教授	102	87	71	8	11.3	2	*
		終講大正15年2月26日	共同海損	今村有教授	40	38	29	9	31.0		*
		証書授与式大正15年3月4日	道德教育論	岸興詳教授	82	74	61	5	8.2		*
19	*	開講大正15年5月3日	憲法	阿部三四教授	85	78	59	9	15.3	*	▲
		終講大正15年6月5日	交通政策	武藤長蔵教授	58	56	47	18	38.3	*	*
		証書授与式大正15年6月14日	商品鑑定学	浅野金兵衛教授	58	56	47	21	44.7	*	*
20	*	開講大正15年9月13日	会社法	島本英夫教授	68	63	56	14	25.0	*	●
		終講大正15年10月20日	商業学上緊要なる若干問題	馬場誠教授	62	57	48	14	29.1	*	*
		証書授与式大正15年10月25日	会计学	飯田静次郎教授	63	58	53	31	58.5	*	*
21	1927年冬季	開講昭和2年1月17日	英語及英文学	青木道教授	75	73	49	16	32.7	3	*
		終講昭和2年2月23日	経済原論	伊藤久秋教授	84	81	64	36	56.3		*
		証書授与式昭和2年2月28日	銀行及外国為替	奥田唯輔教授	75	73	59	16	27.1		*
22	1927年春季	開講昭和2年5月2日	東洋経済事情	中野竹四郎教授	90	82	71	18	25.4	*	*
		終講昭和2年6月4日	商用書翰十講	野崎辰巳助教授	56	53	45	12	26.7	*	▲
		証書授与式昭和2年6月13日	商業算術要項	山本恭次郎教授	60	54	46	21	45.7	*	*
23	1927年秋季	開講昭和2年10月10日	英語商業書信	鳥居助三教授	34	30	22	18	81.8	*	*
		終講昭和2年11月15日	商業簿記	塚原仁教授	51	46	40	19	47.5	*	*
		証書授与式昭和2年11月24日	民法債権法	堀部靖雄教授	77	71	56	25	44.6	*	*
24	1928年冬季	開講昭和3年1月17日	対外商業政策	田崎仁義教授	66	59	45	26	57.8	5	▲
		* 英文経済十稿	根本英介講師	30	30	19	8	42.1	*		
		証書授与式昭和3年2月23日	海上運送論	今村有教授	50	47	38	21	55.3		*
25	*	開講昭和3年5月7日	科学的管理法	馬場誠教授	92	91	78	37	47.4	*	*
		終講昭和3年6月9日	貨幣及金融の諸問題	谷田義一教授	58	57	47	26	55.3	*	*
		証書授与式昭和3年6月18日	社会学	不破祐俊講師	70	65	54	28	51.9	*	*
26	1928年秋季	開講昭和3年10月1日	植民政策	阿部三四教授	43	43	40	14	35.0	*	*
		終講昭和3年11月7日	工業経済	伊藤久秋教授	48	48	44	17	38.6	*	*
		証書授与式昭和3年11月19日	英語(訳読)	田村一教授	51	50	40	31	77.5	*	*
27	1929年冬季	開講昭和4年1月14日	損益会計論	高畑得四郎教授	50	50	45	20	44.4	7	●
		終講昭和4年2月18日	親族相続法	堀部靖雄教授	50	50	38	14	36.8		*
		証書授与式昭和4年2月25日	財務数学	山本恭次郎教授	42	42	27	12	44.4		●
28	1929年春季	開講昭和4年5月6日	会计学要論	飯田静次郎教授	66	66	59	32	54.2	*	*
		終講昭和4年6月8日	銀行簿記	塚原仁教授	36	36	33	19	57.6	*	*
		証書授与式昭和4年6月17日	英語	伊東勇太郎	39	39	28	8	28.6	*	*
29	1929年秋季	開講昭和4年10月10日	経済地理	伏見義夫教授	44	44	42	24	57.1	*	*
		終講昭和4年11月14日	心理学	不破祐俊教授	38	38	33	19	57.6	*	*
		終了式昭和4年11月20日	海上保険	勝呂弘講師	29	29	26	18	69.2	*	●
30	1930年冬季	開講昭和5年1月16日	手形法	島本英夫教授	64	59	46	18	39.1	10	*
		終講昭和5年2月20日	商用書翰	野崎辰巳教授	31	26	19	15	78.9		▲
		講習証書授与式昭和5年2月27日	配給論	馬場誠教授	44	38	26	18	69.2		*
31	1930年春季	開講昭和5年5月5日	英文商業書翰	根本英介助教授	34	32	28	14	50.0	*	*
		終講昭和5年6月7日	社会政策	河本吉男講師	65	55	51	22	42.3	*	*
		講習証書授与式昭和5年6月16日	取引所論	塚原仁教授	32	30	29	19	65.5	*	*
32	1930年秋季	開講昭和5年10月13日	消費経済論	伊藤久秋教授	58	52	41	22	58.7	*	*
		終講昭和5年11月18日	物権法	堀部靖雄教授	50	44	36	18	50.0	*	*
		講習証書授与式昭和5年11月24日	統計法概論	山本恭次郎教授	29	24	16	7	43.8	*	*
33	1931年冬季	開講昭和6年1月12日	英語英文学	青木道教授	35	34	27	11	40.7	4	*
		終講昭和6年2月16日	銀行経済	奥田唯輔教授	44	41	32	27	84.4		●
		証書授与式昭和6年2月23日	植民政策	松野賢吾講師	29	27	24	20	83.3		*
34	1931年春季	開講昭和6年4月20日	近世哲学史	不破祐俊教授	58	53	49	31	63.3	*	●
		終講昭和6年5月25日	東洋経済事情	伏見義夫教授	57	51	45	30	66.7	*	●
		証書授与式昭和6年6月1日	欧洲経済史	新川伝介講師	49	45	40	24	60.0	*	●
		開講昭和6年10月12日	英語英文学	本多莞爾教授	29	24	19	7	36.8	*	*

35	1931年秋季	終講昭和6年11月18日	海運経営論	今村有教授	37	26	25	15	60.0	*	▲
		証書授与式昭和6年11月26日	南洋事情	岡田丈夫助教授	39	30	29	20	69.0	*	●
36	1932年冬季	開講昭和7年1月11日	会計学要論	飯田静次郎教授	51	48	42	27	64.3	5	●
		終講昭和7年2月16日	会社法	島本英夫教授	38	32	24	9	37.5		*
37	1932年春季	証書授与式昭和7年2月22日	保険学概論	勝呂弘教授	29	27	25	19	76.0	*	●
		開講昭和7年5月2日	経済学史	武藤長蔵教授	42	41	32	19	59.4	*	●
38	1932年秋季	終講昭和7年6月9日	商業要論	馬場誠教授	36	35	32	26	81.3	*	●
		証書授与式昭和7年6月16日	関税政策	河野吉男教授	40	39	34	26	76.5	*	●
39	1933年冬季	開講昭和7年10月18日	英語(講読)	根岸英介助教授	24	24	19	4	21.1	*	*
		終講昭和7年11月22日	財政表ノ見方	塚原仁教授	45	38	35	17	48.6	*	*
40	1933年春季	証書授与式昭和7年11月28日	国際公法	松村行蔵教授	49	43	40	29	72.5	*	●
		開講昭和8年1月16日	哲学史	不破祐俊教授	20	19	15	13	86.7	*	*
41	1933年秋季	終講昭和8年2月20日	支那時文	長畑桂蔵教授	30	29	28	15	53.6	6	●
		証書授与式昭和8年2月27日	財政学	松野賢吾教授	49	49	42	28	66.7		*
42	1934年冬季	開講昭和8年5月8日	商品学	浅野金兵衛教授	50	49	46	30	65.2	*	▲
		終了昭和8年6月10日	財務数学	山本恭次郎教授	35	29	24	12	50.0	*	●
43	1934年春季	講習証書授与式昭和8年6月19日	貿易経営	馬場誠教授	55	54	53	40	75.5	*	●
		開講昭和8年10月12日	英語英文学	伊東勇太郎教授	26	26	24	8	33.3	*	*
44	1934年秋季	二科目終了昭和8年11月16日	アメリカ経済事情	伏見義夫教授	29	29	25	18	72.0	*	●
		講習証書授与式昭和8年11月27日	金融論	奥田唯輔教授	46	43	25	14	56.0	*	▲
45	1934年冬季	開講昭和9年1月15日	破産法	堀部靖雄教授	39	33	27	18	66.7	5	●
		終了昭和9年2月20日	商業簿記	高畑得四郎教授	44	41	33	23	69.7		*
46	1934年春季	講習証書授与式昭和9年2月22日	共同海損	今村有教授	25	24	19	10	52.6	*	*
		開講昭和9年5月10日	国際経済問題	河野吉男教授	*	50	48	37	77.1	*	●
47	1934年秋季	終了昭和9年6月15日	工業経済論	伊藤久秋教授	*	33	28	18	64.3	*	*
		講習証書授与式昭和9年6月21日	露西亜事情	中村俊蔵助教授	*	20	17	17	100.0	*	●
48	1935年冬季	開講昭和9年10月22日	商工心理	不破祐俊教授	*	32	30	25	83.3	*	*
		終了昭和9年11月30日	会計学要論	飯田静次郎教授	*	38	34	27	79.4	*	●
49	1935年春季	講習証書授与式昭和9年12月6日	民法総論	三木正雄教授	*	39	35	26	74.3	*	●
		開講昭和10年1月14日	人文地理	伏見義夫教授	*	39	32	28	78.1	6	●
50	1935年秋季	終了昭和10年2月18日	倉庫営業論	勝呂弘教授	*	32	29	24	82.8		*
		講習証書授与式昭和10年2月25日	租税各論	松野賢吾教授	*	46	34	27	79.4	*	*
51	1936年冬季	開講昭和10年5月6日	英語英文学	後藤武士教授	*	45	39	18	46.2	*	▲
		終了昭和10年6月8日	独逸経済状態	河野吉男教授	*	45	43	27	62.8	*	●
52	1936年春季	講習証書授与式昭和10年6月17日	企業金融ノ数理	山本恭次郎教授	*	28	24	9	37.5	*	●
		開講昭和10年11月4日	商工経営	馬場誠教授	*	41	40	30	75.0	*	●
53	1936年秋季	終了昭和10年12月11日	商法総則及会社	堀部靖雄教授	*	38	33	18	54.5	*	●
		講習証書授与式昭和10年12月16日	銀行及外国為替	奥田唯輔教授	*	52	46	29	63.0	*	*
54	1937年冬季	開講昭和11年1月16日	支那事情	伊藤基光教授	*	27	27	23	85.2	7	*
		終了昭和11年2月20日	原価計算	山辺六郎教授	*	37	34	27	79.4		*
55	1937年春季	講習証書授与式昭和11年2月24日	債権法総論	三木正雄教授	*	38	33	28	84.8	*	*
		開講昭和11年5月11日	英語英文学	伊東勇太郎教授	*	52	48	12	25.0	*	*
56	1937年秋季	終了昭和11年6月17日	経済統計	塚原仁教授	*	54	50	39	78.0	*	▲
		講習証書授与式昭和11年6月18日	近世日本社会史	小山隆教授	*	69	63	39	61.9	*	●
57	1937年冬季	開講昭和11年10月26日	交通地理	伏見義夫教授	*	37	35	27	77.1	*	●
		終了昭和11年12月1日	海運論	今村有教授	*	39	34	20	58.8	*	▲
58	1937年春季	講習証書授与式昭和11年12月5日	租税総論	松野賢吾教授	*	73	68	44	64.7	*	●
		開講昭和12年1月14日	物価論	伊藤久秋教授	*	58	52	37	71.1	5	●
59	1937年秋季	終了昭和12年2月18日	商業英語	片山振作教授	*	17	16	8	50.0		*
		講習証書授与式昭和12年2月22日	租税制度論	松野賢吾教授	*	69	64	42	65.6	*	●
60	1937年冬季	開講昭和12年5月3日	商業簿記入門	山辺六郎教授	*	84	74	31	41.9	*	●
		終了昭和12年6月11日	貿易政策論	河野吉男教授	*	45	35	26	74.3	*	●

		証書授与式昭和12年6月14日	親族相続法	三木正雄教授	*	67	57	37	64.9	*	*
53	1937年秋季	開講昭和12年10月14日	欧洲經濟史概観	重藤威夫講師	*	56	51	40	78.4	*	●
		終了昭和12年11月15日	手形法及小切手法	堀部靖雄教授	*	68	56	31	55.4	*	▲
		講習証書授与式昭和12年11月18日	英語英文学	伊東勇太郎教授	*	61	56	21	37.5	*	*
54	1938年冬季	開講昭和13年1月17日	商工経営	馬場誠教授	*	35	32	27	84.4	6	●
		終了昭和13年2月21日	東洋經濟事情	伏見義夫教授	*	61	58	42	72.4		●
		講習証書授与式昭和13年2月24日	銀行及金融	奥田唯輔教授	*	36	33	22	66.7		●
55	1938年春季	開講昭和13年5月2日	日英交通史	武藤長蔵講師	*	30	19	18	94.7	*	*
		終了昭和13年6月13日	支那時文	伊藤基光教授	*	29	22	14	63.6	*	●
		講習証書授与式昭和13年6月16日	保険総論	勝呂弘教授	*	49	48	40	83.3	*	●
56	1938年秋季	開講昭和13年10月13日	取引所論	塚原仁教授	*	47	39	28	71.8	*	●
		終了昭和13年11月21日	会計監査	飯田静次郎教授	*	41	33	22	66.7	*	●
		講習証書授与式昭和13年11月28日	高等利息算	山本恭次郎教授	*	33	29	10	34.5	*	●
57	1939年冬季	開講昭和14年1月16日	海上保険論	今村有教授	*	29	29	18	62.1	6	●
		終了昭和14年2月20日	債権法各論	三木正雄教授	*	44	40	27	67.5		*
		講習証書授与式昭和14年2月23日	英語	根岸英介助教授	*	40	29	14	48.3		●
58	1939年春季	開講昭和14年5月11日	支那語	伊藤基光教授	*	66	54	43	79.6	*	●
		終了昭和14年6月15日	商法概説	堀部靖雄教授	*	68	56	37	66.1	*	●
		講習証書授与式昭和14年6月21日	本邦貿易政策論	河野吉男教授	*	54	45	35	77.8	*	●
59	1939年秋季	開講昭和14年10月2日	英語	伊東勇太郎教授	*	48	28	11	39.3	*	*
		終了昭和14年11月15日	租税理論	松野賢吾教授	*	42	32	17	53.1	*	*
		講習証書授与式昭和14年11月20日	原価計算	山辺六郎教授	*	67	52	35	67.3	*	●
60	*	開講昭和15年1月18日	戦時經濟	馬場誠教授	*	50	43	34	79.1	5	●
		終了昭和15年2月21日	欧羅巴事情	伏見義夫教授	*	31	25	22	88.0		●
		講習証書授与式昭和15年2月26日	社会学概論	徳永新太郎教授	*	45	38	25	65.8		●
61	1940年春季	開講昭和15年5月9日	新興重要商品学	浅野金兵衛教授	*	61	51	32	61.5	*	●
		終了昭和15年6月12日	*	*	*	*	*	*	*	*	
		講習証書授与式昭和15年6月17日	支那ノ文化ト經濟	重藤威夫教授	*	74	62	47	75.8	*	●
62	1940年秋季	開講昭和15年10月10日	物權法	三木正雄教授	*	65	54	38	64.8	*	*
		終了昭和15年11月16日	支那時文	長畑桂蔵教授	*	43	27	19	70.4	*	*
		講習証書授与式昭和15年11月20日	南洋經濟事情	岡田丈夫助教授	*	62	53	38	71.7	*	*
63	1941年冬季	開講昭和16年1月16日	人口統計論	塚原仁教授	*	31	27	23	85.2	9	*
		終了昭和16年2月21日	理論經濟学	伊藤久秋教授	*	68	52	26	50.0		*
		証書授与式昭和16年2月24日	銀行金融及外国為替	奥田唯輔教授	*	66	51	37	72.5		▲
64	1941年春季	開講昭和16年5月15日	英語	根岸英介助教授	*	68	57	5	8.8	*	*
		終了昭和16年6月21日	商業政策	河野吉男教授	*	75	64	31	48.4	*	●
		講習証書授与式昭和16年6月26日	商業簿記	山辺六郎教授	*	76	59	32	54.2	*	*
65	1941年秋季	開講昭和16年10月13日	配給論	馬場誠教授	*	73	49	36	73.5	*	●
		終了昭和16年11月22日	会社法	堀部靖雄教授	*	72	47	32	68.1	*	●
		講習証書授与式昭和16年11月24日	財政学	松野賢吾教授	*	59	39	32	82.1	*	*
66	1942年冬季	開講昭和17年1月19日	会计学	飯田静次郎教授	*	84	62	29	46.8	8	▲
		終了昭和17年2月23日	哲学概論	徳永新太郎教授	*	88	70	31	44.3		●
		講習証書授与式昭和17年2月26日	植民政策	重藤威夫教授	*	74	46	29	63.0		●
67	1942年春季	開講昭和17年5月4日	經濟地理	伏見義夫教授	*	90	71	38	53.5	*	●
		終了昭和17年6月8日	高等利息算	山本恭次郎講師	*	48	23	11	47.8	*	●
		講習証書授与式昭和17年6月15日	戦時保險政策	勝呂弘教授	*	51	37	29	78.4	*	▲
68	1942年秋季	開講昭和17年10月12日	現代世界觀の諸問題	徳永新太郎教授	*	79	57	30	52.6	*	●
		終了昭和17年11月20日	国防經濟理論	伊藤久秋教授	*	70	40	20	50.0	*	●
		講習証書授与式昭和17年11月26日	支那語	伊藤基光教授	*	59	41	31	75.6	*	●
69	1943年冬季	開講昭和18年1月19日	大東亜共栄圈經濟事情	渡辺久雄教授	*	63	34	23	67.6	8	●
		終了昭和18年3月6日	戦時經濟統制法	堀部靖雄教授	*	69	39	21	53.8		●
		講習証書授与式昭和18年3月11日	原価計算	山辺六郎教授	*	80	39	15	38.5		*

70	1943年春季	開講昭和18年5月10日	日本産業論	河野吉男教授	*	54	45	20	44.4	*	*
		終了昭和18年6月17日	近世支那通商史	丸亀金作教授	*	31	24	13	54.2	*	*
		講習証書授与式昭和18年6月21日	工業経営論	坂口幹生教授	*	57	39	22	56.4	*	*
71	1943年秋季	開講昭和18年10月11日	統計学	塚原仁教授	*	29	19	11	57.9	*	*
		終了昭和18年11月17日	商事法概論	松波港三郎教授	*	21	15	8	53.3	*	*
		講習証書授与式昭和18年11月22日	取引ノ理論	八坂筑紫教授	*	22	13	8	61.5	*	*
72	1944年冬季	開講昭和19年1月17日	経営経済学	馬場誠教授	*	28	16	12	75.0	8	*
		終了昭和19年1月24日	公債論	松野賢吾教授	*	17	9	4	44.4		*
		修了証書授与式昭和19年2月28日	民法総論	西口照男講師	*	24	16	9	56.3		*
73	1944年春季	開講昭和19年6月26日	原価計算	山辺六郎教授	*	27	11	4	36.4	*	*
		終了昭和19年8月7日	工業資材	浅野金兵衛講師	*	16	4	2	50.0	*	*
		修了証書授与式昭和19年8月10日	戦時金融	奥田唯輔教授	*	20	5	3	60.0	*	*
74	1946年春季	開講昭和21年5月20日	社会学概論	徳永新太郎教授	*	128	82	3	3.7	*	*
		終了昭和21年6月22日	商業概説	馬場誠教授	*	93	34	6	17.6	*	*
		修了証書授与式昭和21年7月1日	景気論入門	八坂筑紫教授	*	84	21	4	19.0	*	*
75	1946年秋季	開講昭和21年10月28日	財政学	松野賢吾教授	*	151	75	8	10.7	*	*
		終了昭和21年12月3日	労働組合問題	河野吉男教授	*	245	128	23	18.0	*	*
		修了証書授与式昭和21年12月9日	会计学	山辺六郎教授	*	166	72	9	12.5	*	*
76	1947年春季	開講昭和22年5月19日	インフレーションの研究	奥田唯輔教授	*	170	79	19	24.1	*	*
		終了昭和22年6月21日	商品学	浅野金兵衛講師	*	143	68	5	7.4	*	*
		修了証書授与式昭和22年6月30日	英語通信文	根岸英介助教授	*	137	42	7	16.7	*	*
77	*	開講昭和22年10月20日	経営経済学	坂口幹生教授	*	93	36	20	55.6	*	*
		終了昭和22年11月24日	経済統計	塚原仁教授	*	45	8	5	62.5	*	*
		修了証書授与式昭和22年12月1日	憲法	西口照男教授	*	81	42	18	42.9	*	*
総計					*	12040	9047	4285	47.0	123	84科目

夜間講習開講期	表題	講述者など	編集者、発行者など	発行年月日	頁数	筆記、体裁	数量	備考
45冬1935か	倉庫営業論	長崎高等商業学校教授 勝呂弘講述	*	*	134p	ガリ版、厚紙	3*	
44秋1934	民法総論 第四十四回秋期夜学講習	長崎高等商業学校教授 三木正雄講述	*	*	54p	ガリ版、厚紙	5	1冊の厚板紙表紙に「第四十四回秋期 昭和九年十月」と手書き
43春1934	国際経済問題	長崎高等商業学校教授 河野吉男講述	*	1934.6	82p	ガリ版、厚紙	4*	
41秋1933か	金融論	長崎高等商業学校教授 奥田唯輔講述	*	1934.6	224p	ガリ版、厚紙	3*	
56秋1938	会計監査	飯田静次郎講述	*	序言1938.10	52p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十三年十月／第五十六回秋期」と手書き、1冊の厚板紙表紙に「昭和十三年十月／第五十六回秋期」と手書き
56秋1938	高等利息算概論	長崎高商教授山本恭次郎	*	*	134p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十三年十月／第五十六回秋期」と手書き
56秋1938	取引所論	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	101p	ガリ版、厚紙	4	2冊の厚板紙表紙に「昭和十三年十月／第五十六回秋期」と手書き
44秋1934	会計学要論	長崎高等商業学校教授 飯田静次郎講述	*	1934.11.30	102p	ガリ版、厚紙	4*	
58春1939	支那語	長崎高等商業学校教授 伊藤基光講述	*	1939.6	60p	ガリ版、厚紙	5	1冊の厚板紙表紙に「昭和十四年六月／第五十八回春期」と手書き
46春1935	独逸経済状態	長崎高等商業学校教授 河野吉男講述	*	1935.6.5	80p	ガリ版、厚紙	4*	
54冬1938	銀行及金融	長崎高等商業学校教授 奥田唯輔講述	*	1938.2	58p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙背表紙に「54 昭和十三年」と手書き
57冬1939	JAPAN:A GRE AT UNKNOWN QUANTITY	Nathaniel Preffor	*	*	41p	タイプ、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十四年三月／第五十七回冬期／根岸助教授／英語」と手書き、1冊の厚板紙表紙に「昭和十四年二月／英語」と手書き
58春1939	新商法概説	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	1939.6	90p	ガリ版、厚紙	4	2冊の厚板紙表紙に「昭和十四年六月／第五十八回春期」と手書き
52春1937	商業簿記入門	長崎高等商業学校教授 山辺六郎述	*	*	54p	ガリ版、厚紙	2	厚板紙表紙に「昭和十二年五月第五十二回秋期」と手書き
50秋1936	租税総論	長崎高等商業学校教授 松野賢吾講述	*	1936.11.28	88p	ガリ版、厚紙	2*	
53秋1937か	手形法及小切手法	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	1936.11	54p	ガリ版、厚紙	3*	
58春1939	本邦貿易政策論	長崎高等商業学校教授 河野吉男講述	*	1939.6	113p	ガリ版、厚紙	4	2冊の厚板紙表紙に「昭和十四年六月／第五十八回春期」と手書き
60冬1940	欧羅巴事情	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	1940.2	119p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十五年二月第六十回冬期」と手書き、大阪商業大学教授伏見義夫の「慶長・元和の大阪平野—大阪役の地理的考察」『大阪商業大学論集』第3号(昭和28年10月)抜刷あり
60冬1940	戦時経済	長崎高等商業学校教授 馬場誠講述	*	1940.2	58p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十五年二月第六十回冬期」と手書き
53秋1937	欧洲経済史概観	長崎高等商業学校講師 重藤威夫講述	*	1937.11	78p	ガリ版、厚紙	3*	



60冬1940	社会学概論	長崎高等商業学校教授 徳永新太郎講述	*	1940.2	66p	ガリ版、厚紙	4	2冊の厚板紙表紙に「昭和十五年二月第六十回冬期」と手書き、1冊の厚板紙表紙に「第六〇回冬期夜学講習プリント昭和十五年二月」と手書き
61春1940	新興重要商品学要項	長崎高等商業学校教授 浅野金兵衛講述	*	1940.6	72p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「第六十一回春期(昭和十五、六)」と手書き
61春1940	支那の文化と経済	長崎高等商業学校教授 重藤威夫講述	*	1940.5	76p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「第六十一回春期(昭和十五、六)」と手書き
51冬1937	物価論	長崎高等商業学校教授 伊藤久秋講述	*	*	36p	ガリ版、厚紙	2	1冊の厚板紙表紙に「昭和十二年二月／第五十一回冬期講習」と手書き
*	統計学講義 昭和十二年度	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	81p	ガリ版、厚紙	3	1冊はページノブルが1-28、5-81、1-62
34春1931	東洋経済事情	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	1931.5	83p	ガリ版、講習	3*	
50秋1936	交通地理学	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	1936.11	184p	ガリ版、厚紙	5	2冊の厚板紙背表紙に「昭和十一年」と手書き
54冬1938	商工経営	長崎高等商業学校教授 馬場誠講述	*	1938.2	78p	ガリ版、厚紙	5	2冊の厚板紙背表紙に「昭和十三年」と手書き
51冬1937	租税制度論	長崎高等商業学校教授 松野賢吾講述	*	1937.2.17	60p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十二年二月／第五十一回冬期講習」と手書き
65冬1941	会社法一株式会社ヲ中心トシテ	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	*	58p	ガリ版、厚紙	3	厚板紙表紙に「昭和十六年十一月／第六十五回冬期」と手書き
66冬1942	哲学概論	長崎高等商業学校教授 徳永新太郎講述	*	1942.2	104p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十七年二月第六六回冬期」と手書き
64春1941	アウタルキーとその東亜的形態論	長崎高等商業学校教授 河野吉男講述	*	1941.6.17	92p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「64回春期／河野教授／商業政策／アウタルキーとその東亜的形態論」と手書き
65冬1941	配給論	長崎高等商業学校教授 馬場誠講述	*	1941.11	40p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十六年十一月／第六十五回冬期」と手書き
46春1935	企業金融ノ数理	山本恭次郎講	*	1935.6.8	131p	ガリ版、厚紙	4*	
46春1935か	THE FLY	Katherine Mansfield	*	*	50p	タイプ、厚紙	3	厚板紙背表紙に「英語 後藤教授」と手書き
47秋1935	商法総則編及会社編	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	1935.12	34p	ガリ版、厚紙	2*	
52春1937	貿易政策論	長崎高等商業学校教授 河野吉男講述	*	1937.6.11了	108p	ガリ版、厚紙	2	厚板紙表紙に「昭和十二年五月第五十二回秋期」と手書き
63冬1941か	金融論	長崎高等商業学校教授 奥田唯輔講述	*	1940.4	87p	ガリ版、製本	1*	
*	民法講義(債権篇)	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	*	140p	活版、製本	4*	
*	民法講義案(一ノ一)	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄述	*	*	55p	活版、製本	1	裏表紙見返しに「230部／献10／原価23銭／売価25銭／岩永秀文舎／昭6年9月」と手書き
*	債権総論講義 完	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	1926.10.10	179p	ガリ版、製本	1	表紙と扉のみ活版、奥付あり、印刷所福岡市黎明社
*	社会学序説(第一部)	不破祐俊述	*	*	45p	活版、製本	2	1冊の裏表紙見返しに「昭和7年4月／3年選択／山田組／製200／売@25銭」と赤ペン手書き
*	商法総論 昭和九年度講義	*	*	*	70p	活版、製本	6	1冊の裏表紙見返しに「昭和9年4月／3年生／製本260部@35銭52(献10)／売価40銭」と赤ペン手書き

*	AN APPRECIATION OF ENGLISH LITERATURE	*	*	1927.1.13	85p	ガリ版、製本	3	奥付あり、印刷所福岡市黎明社
*	複式簿記講義要綱	東京税務監督局属織田吉蔵述	*	*	120p	ガリ版、製本	1	表紙に「長崎高商／14. 9. 18／研究館」のスタンプ
*	理論経済学序説	伊藤久秋講述	*	*	29p	活版、製本	1	裏表紙見返しに「昭和8年度／1年生／270／売15銭」と赤ペン手書き
*	理論経済学序説	伊藤久秋講述	*	1934.4	44p	活版、製本	6	1冊の裏表紙見返しに「昭和9年4月／1年生／製本270献10／@18銭／売価22銭」と赤ペン手書き
40春1933	貿易経営 昭和八年五・六月第四拾回夜学講習用	長崎高等商業学校教授馬場誠講述	*	*	86p	ガリ版、修了	3	表紙に講義名ガリ版刷り
42冬1934	破産法	長崎高等商業学校教授堀部靖雄講述	*	1934.2	130p	ガリ版、修了	3	表紙に講義名筆手書き
*	商業簿記	*	*	*	72p	ガリ版、修了	3	表紙に講義名筆手書き
37春1932	関税政策	長崎高等商業学校教授河野吉男講述	*	1932.6	62p	ガリ版、修了	3	表紙に講義名ガリ版刷り
38秋1932	国際公法 講義案	長崎高等商業学校松村教授	*	1932	95p	ガリ版、修了	2	表紙に講義名ガリ版刷り
63冬1941か	金融論	長崎高等商業学校教授奥田唯輔講述	*	1941.5	95p	ガリ版、修了	1	表紙に講義名ガリ版刷り
63冬1941か	外国為替	長崎高等商業学校教授奥田唯輔講述	*	1940.4	24p	ガリ版、修了製本	7	表紙に講義名ガリ版刷り
41秋1933	亜米利加経済事情	長崎高等商業学校教授伏見義夫講述	*	1938.11	183p	ガリ版、修了	3	表紙に講義名ペン手書き
*	共同海損講義	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	*	332p	ガリ版、製本	1	表紙に講義名活版刷り
*	商法総則講義案	堀部靖雄	*	*	77p	活版、製本	9	*
22春1927、30冬1930か	商用書翰解説	長崎高等商業学校教授野崎辰巳講述	*	*	224p	ガリ版、製本	2	表紙のみ活版、1冊は表紙欠
22春1927、30冬1930か	商用書翰解説 完	長崎高等商業学校野崎教授講述	*	*	216p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版
34春1931	欧洲経済史	長崎高等商業学校講師新川伝介講述	*	1931.5	102p	ガリ版、講習	2	1冊の表紙に「昭和六年五月／第卅四回春期」と筆手書き、1冊は講義名のみ
55春1938	支那時文 第五拾五回春期夜学講習	長崎高等商業学校教授伊藤基光教授	*	1938.6	116p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙表紙に「昭和十三年／第五十五回春期」と手書き
*	民法総則講義(一)	*	*	*	83p	活版、製本	3	*
*	取引所講義	長崎高等商業学校教授塚原仁講義	*	1936年度	112p	ガリ版、製本	2	印行長崎市洋々堂
35秋1931か	海運経営論	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	*	166p	ガリ版、製本	2	印刷岩川町蛍明社
22春1927、30冬1930か	商用書翰解説	野崎辰巳述	*	*	165p	活版、製本	1	*
*	銀行簿記講義	長崎高等商業学校教授塚原仁講述	*	*	137, 74p	活版、製本	4	*

22春1927、 30冬1930か	商用書翰解説 上 編	野崎辰巳述	*	*	59p	活版、製本	5*
22春1927、 30冬1930か	商用書翰解説	野崎辰巳述	*	*	134p	活版、製本	1*
43春1934	国際経済問題 昭 和九年度春季夜学 講義案	河野吉男	*	1934.5.28	82p	ガリ版、製本	1 表紙のみ活版、表紙に「長崎高等商業学校研究館印」 のスタンプ
50秋1936か	海運論	教授今村有講述	*	*	84p	ガリ版、厚紙	2*
43春1934	露西亜事情	長崎高等商業学校助教 中村俊蔵講述	*	1934.6	100p	ガリ版、厚紙	3*
68秋1942	国防経済理論	長崎高等商業学校教授 伊藤久秋講述	*	*	10p	ガリ版、修了ホ チキス	2 表紙に「昭和十七年秋期(68回)」とペン手書き
69冬1943	戦時経済統制法	長崎高等商業学校教授 堀部靖雄講述	*	1943.2	40p	ガリ版、厚紙	3 厚板紙表紙に「昭和十八年二月(第六十九回冬期)」と 手書き
66冬1942か	会计学	長崎高等商業学校教授 飯田静次郎講述	*	序言1941.1	88p	ガリ版、厚紙	3 2冊の厚板紙表紙に「昭. 一七. 一」と手書き、1冊は 厚板紙表紙なし製本
67春1942	経済地理学	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	*	88p	ガリ版、厚紙	3 2冊の厚板紙表紙に「昭和十七年五月/第六十七回 春期」と手書き
68秋1942	支那語	長崎高等商業学校教授 伊藤基光講述	*	*	32p	ガリ版、厚紙	2 厚板紙表紙に「昭和十七年秋期(68回)」と手書き
49春1936	近世日本社会史	長崎高等商業学校教授 小山隆講述	*	1936.6.17	46p	ガリ版、厚紙	2*
47秋1935	商工経営	長崎高等商業学校教授 馬場誠講述	*	1935.12	54p	ガリ版、厚紙	2*
68秋1942	現代世界観の諸問 題	長崎高等商業学校教授 徳永新太郎講述	*	1942.11	35p	ガリ版、厚紙	3 2冊の厚板紙表紙に「昭和十七年秋期(68回)」と手 書き
67春1942か	戦時保険政策—大 東亜戦争ヲ中心トシ	長崎高等商業学校教授 勝呂弘講述	*	*	20p	ガリ版、くるみ 綴じ	2*
45冬1935	人文地理学	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	1935.2	106p	ガリ版、厚紙	4*
40春1936か	経済統計	教授塚原仁	*	*	30p	ガリ版、厚紙	1*
24冬1928か	対外商業政策講義 乾	長崎高等商業学校田崎 教授講述	*	1928.3.28	262p	ガリ版、製本	2 裏表紙見返しに「昭和3年3月/田崎教授/二年生用 /170冊印刷/売価¥1.70」とペン手書き。奥付あ り、印刷所福岡市黎明社
*	研究指導参考資料 第一輯	長崎高等商業学校研究 館田崎教授研究室	*	1928.5	22p	ガリ版、製本	1 表紙のみ活版
*	商業組合に於ける 価格協定に関する 調査	長崎高等商業学校研究 館堀部靖雄、編輯所長 崎高等商業学校研究館	編輯兼発行者長 崎高等商業学校 研究館伊藤久秋	1935.9.15	21p	活版、製本	3 抜刷
*	日本古代文化史講 義案(第一分冊)	不破祐俊述	*	*	103p	活版、製本	1 裏表紙に「長崎高商/第三学年/高橋茂」とペン手書 き
35秋1931	南洋事情	長崎高等商業学校助教 岡田丈夫講述	*	1931.11	82p	ガリ版、講習	1*
*	補導講座 支那語 及支那社会事情	長崎高等商業学校教授 長畑桂蔵述	*	1940.10	71p	ガリ版、厚紙	1 本体表紙に「長崎職業紹介所主催」と印字、厚板紙表 紙に「支那語補導講座」と手書き

67春1942	高等利息算	山本講師	*	*	52p	ガリ版、厚紙	3	本体表紙なし、厚板紙表紙に「第六十七回春期／昭和十七年五月／高等利息算」と手書き
*	統計学	*	*	*	62p	ガリ版、厚紙	1	本体表紙なし、「第三章製表」から始まる。厚板紙表紙に「統計学」と手書き
34春1931	西洋近世哲学史講義案	HUWA suketosi	*	*	191p	ガリ版、修了	2	1冊の表紙に「昭和六年五月、第卅四回」と筆手書き、1冊の表紙に「近世哲学史」と筆手書き
*	保険価額に就て	今村有	*	*	40p	活版、製本	1	損害保険研究第三巻第二号印刷
*	礼記曲礼	*	*	*	29p	活版、製本	6	*
*	哲学概論(精神史学概論)	鹿子木教授述	*	*	201p	ガリ版、製本	1	表紙見返しに「呈武藤先生」と手書き
*	銀行簿記附録 銀行諸法規	*	*	*	39p	活版、製本	10	1冊の表紙に「昭和八年度／銀行簿記附録」と手書き
*	統計学序論	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	56p	活版、製本	3	表紙に「ARMAND JULIN氏著／統計学序論(抄訳)」と活版
*	テクノクラシーの経済学	著者グラハム・エ・レイイ ング、翻訳峰辰次	*	*	68p	活版、製本	1	*
*	手形法・小切手法	*	*	*	71p	コピーをファイル綴じ	1	*
22春1927、 30冬1930か	商用書翰解説	野崎辰巳述	*	*	176p	活版、製本	2	*
*	アタマン・セミヨーノフ及其の生活と活動	ゴルチンスキイ	*	*	33p	活版、製本	1	表紙に「長崎高等商業学校研究館印」のスタンプ、「長崎高等商業学校教授御中」とペン手書き、裏表紙に「対露同盟会」とペン手書き
*	商業教育及び商業学科の史的回顧と	教授武藤長蔵	*	1925.5.3	46p	活版、製本	1	表紙に「長崎高等商業学校創立二十週年記念講演」と印字、「長崎高商／2. 3. 19／研究館」のスタンプ
59秋1939	原価計算論序説	*	*	*	40p	ガリ版、厚紙	2	本体表紙なし、1冊の厚板紙表紙に「第五九回秋期夜学講習プリント昭和十四年十一月／原価計算／山辺教授」と手書き
37春1932	商業要論	長崎高等商業学校教授 馬場誠講述	*	1932.6	59p	ガリ版、厚紙	2	厚板紙表紙1枚剥離、1冊は厚板紙表紙なし紐綴じ
58春1939か	本邦貿易政策論	教授河野吉男述	*	*	76p	ガリ版、厚紙	1	本体表紙なし、厚板紙表紙に「昭和十四年五月」？と手書き
54冬1938	東洋経済事情	長崎高等商業学校教授 伏見義夫講述	*	1938.2	194p	ガリ版、厚紙	3	2冊の厚板紙背表紙に「54 昭和十三年」と手書き
61春1940	支那の文化と経済	長崎高等商業学校教授 重藤威夫講述	*	1940.5	70p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版
66冬1942	植民政策—近世世界植民史を中心とし	長崎高等商業学校教授 重藤威夫講述	*	*	80p	ガリ版、厚紙	3	2冊は厚板紙表紙に「昭和十七年二月第六六回冬期」と手書き、1冊は厚板紙表紙なし製本
66冬1942	植民政策—近世世界植民史を中心とし	長崎高等商業学校教授 重藤威夫講述	*	*	80p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版、裏表紙に「植民政策／宗久蔵」と手書き
*	財政表ノ見方	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	39p	ガリ版、修了	2	*

*	聖トマス原著Summa Theologicaの漢訳「超性学要」に就て	長崎高等商業学校教授武藤長蔵	*	*	48p	活版、製本	2	福田徳三博士追憶論文集「経済学研究」分冊、1冊の表紙に「長崎高商／8. 7. 19／研究館」のスタンプ、1冊の表紙に「昭和九年二月十七日夕」「謹呈／塚原仁君」と手書き
*	貞享二年漂流民送還船長崎入津に関する大村家文書	名誉教授講師経済学博士武藤長蔵	*	1939.11.1	54p	活版、製本	1	長崎高等商業学校研究館年報「商業と経済」第二十年別刷、表紙に「長崎高商／15. 1. 13／研究館」のスタンプ
*	アダム・スミスとジョン・ブルース並に彼等と蘇国政治家ダンダス父子との関係	武藤長蔵	*	1939.4	33p	活版、製本	1	坂西由蔵博士還暦祝賀論集『経済学経済史の諸問題』抜刷、表紙に「長崎高商／14. 5. 25／研究館」のスタンプ
*	昭和八年度 銀行簿記講義	長崎高等商業学校教授塚原仁講述	*	*	168p	活版、製本	1	表紙欠、後欠
*	銀行簿記講義	長崎高等商業学校教授塚原仁講述	*	*	137, 74p	活版、製本	1	扉に「昭和八年度」と印字、裏表紙見返しに「昭和8年4月／2年生／売価95銭／附録「銀行法規」付き」と
*	簿記帳簿5	神戸商業大学教授平井泰太郎編	三省堂	*	68p	活版、製本	1	「明細帳簿／決算諸表／附教科書第二編第七章／練習問題記入帳」
36冬1932	保険学概論	長崎高等商業学校教授勝呂弘講述	*	1932.2	199p	ガリ版、紐綴じ	2	*
*	経営学講演集(日本経営学会関西西部会長崎大会報告及講演計画原価計算上の原価の諸概念)	編輯所長崎高等商業学校研究館	編輯兼発行者長崎高等商業学校研究館伊藤久秋	1928.12.25	221p	活版、製本	3	2冊の表紙に「長崎高等商業学校研究館印」のスタンプ
*	出生率に就て	塚原仁、編輯所長崎高等商業学校研究館	編輯兼発行者長崎高等商業学校研究館今村有	1940.12.1	31p	活版、製本	1	富山大学経済論集第五巻第二号、表紙に「御恵存／塚原仁先生」と手書き
*	国民経済生活の指導法則	京都帝国大学経済学部長経済学博士作田荘一氏講演大要	長崎高等商業学校	1932.11.5	34p	活版、製本	1	*
*	仏蘭西に於ける出生率の動向に就いて	塚原仁	*	*	48p	活版、製本	2	抜刷
*	機械に対する犯罪	長崎高等商業学校伊藤久秋	*	1931.5.10	5p	活版、製本	2	犯罪学雑誌第四巻第三号別刷、表紙に「長崎高商／6. 5. 19／研究館」のスタンプ
*	出生に於ける男児超過に就て	塚原仁	*	*	20p	活版、製本	2	抜刷
51冬1937	英文経済欄の研究(Ⅱ)	*	*	*	27p	ガリ版、製本	1	表紙に「昭和十二年一月／第五十一回冬期／片山教授商業英語に使用す」と筆手書き
*	船舶衝突損害賠償金に対する保険者の填補責任	今村有	*	1940.11	82p	活版、製本	2	商業と経済二十一年第一・二合冊別冊
*	ロイズ前史の研究	教授勝呂弘	*	1934.3	58p	活版、製本	1	商業と経済十四年第二冊別刷、表紙に「長崎高商／9. 5. 17／研究館」のスタンプ

*	近世和蘭に於ける海上保険の発展	勝呂弘	*	*	22p	活版、製本	1	海運第百四十五号別刷、表紙に「長崎高商／9. 6. 12／研究館」のスタンプ
*	長崎工業経営専門学校新聞記事索引分類表	*	*	1944.5	*	ガリ版	1袋、54枚	
37春1932	経済学史	武藤教授	*	1932.6	87p	ガリ版、紐綴じ	2	1冊の仮表紙に「第卅七回／春期」と手書き
*	海上保険論	長崎高等商業学校教授 今村有講述	*	1939.3	48p	ガリ版、バラ	29枚	[大東亜経済研究所(新聞)、本校図書館、神戸商大文献目録、大阪商大文献月報、山口経専(新聞)、大分経専、満鉄東亜経済調査局分類表]15枚
*	日英交通史料(十)	教授武藤長蔵	*	1935.3	23p	活版、製本	1	商業と経済第十五年第二冊別刷
*	支那人の地理的環境と其民族性	長崎高等商業学校教授 伏見義夫	*	1932.8.15稿	18p	活版、製本	1	長崎高商研究館彙報第二十一巻第七号抜刷
*	日本を繞る最近の国際情勢	外務省情報局第三課長 外務書記官佐藤忠雄氏	長崎高等商業学校	*	49p	活版、製本	1	*
*	本邦初期の海上保険証券に就て	教授勝呂弘	*	1936.3	42p	活版、製本	1	商業と経済第十六年第二冊別刷
*	旧(倫敦)東印度会社と我国との交通貿易—ジョン・ブルース著東印度会社年	教授武藤長蔵	*	1935.10	69p	活版、製本	1	商業と経済第十六年第一冊特輯長崎高商創立三十周年記念論文集別刷
*	日英交通史料(九)	教授武藤長蔵	*	1932.7	38p	活版、製本	1	商業と経済第十三年第一冊別刷、後欠
*	日英交通史料(十)	教授武藤長蔵	*	1933.3	40p	活版、製本	1	商業と経済第十三年第二冊別刷
*	帝国憲法講義案(政体篇)	松村行蔵述	*	*	105p	活版、製本	1	*
*	統制経済と職分共同体	赤松要	*	*	38p	活版、製本	1	商業経済論叢第十一巻下冊所載、抜刷、表紙に「謹呈」と手書き
*	長崎裁判所の沿革と著名なる刑事事件	長崎前裁判所長三浦順太郎	*	*	*	活版、製本	1	抜刷か、乱丁
*	銀行簿記教程	太田哲三	高陽書院 東京市 神田小川町	1933.5.5	99p	活版、製本	1	奥付あり
*	日英交通史料(十)	教授武藤長蔵	*	1934.3	22p	活版、製本	1	商業と経済第十四年第二冊別刷
*	商業教育上特に研究を要する若干の問題に就て	神戸商業大学長田崎慎治氏講演	長崎高等商業学校	1934.10.31	27p	活版、製本	2	実業教育五十周年記念講演、1冊の表紙に「昭和十年一月二十二日」「西山氏」と手書き、1冊の表紙に「長崎高商／10. 1. 26／研究館」と手書き
*	憲法講義 完	長崎高等商業学校教授 阿部三四講述	*	*	314p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版、表紙に「昭和二年度阿部教授講義用」と手書き
*	広東十三行図説	長崎高等商業学校教授 武藤長蔵	*	1931.4	69p	活版、製本	1	山口高等商業学校「東亜経済研究」第十五週年記念号抜刷
*	日英交通史概観	長崎高等商業学校教授 武藤長蔵	*	1929.11	83p	活版、製本	3	朝日新聞社発行「開国文化」別刷、1冊は80p

*	初期日英交通史の重要文献	長崎高等商業学校教授 武藤長蔵	*	*	82p	活版、製本	1	河津教授還暦祝賀記念「経済学の諸問題」別刷
*	確定保険価額の概念、意義並に利用に就て	今村有	*	*	58p	活版、製本	1	損害保険研究第四巻第一、二号別刷
*	シュナイデル氏ロード投荷法	久川武三	*	*	10p	活版、製本	1	高松高等商業学校紀元二千六百年記念論文集別刷
*	現行国際公法 上巻	阿部三四	長崎高等商業学校研究館	1928.6.20	245p	活版、製本	2	奥付あり、印刷所重誠舎、阿部は長崎高等商業学校教授、扉に「本校学生のために」と印字、1冊の表紙見返しに「謹呈今村学兄 三四」と筆手書き
*	新旧対照 民事訴訟法	池田繁太郎、小橋寿夫	巖松堂書店 東京市神田区猿樂町	1926.6.30	5, 22, 4, 9, 8, 8p	活版、製本	1	奥付あり
*	債権法 全	堀部靖雄講述	*	1929.10	93p	ガリ版、製本	2	奥付あり、印刷長崎市銅座町原田印刷所、表紙のみ活版
*	統計学講義	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	114p	活版、製本	1	*
*	民法講義 総則	堀部靖雄講述	*	1927.10.12	193p	ガリ版、製本	1	奥付あり、表紙のみ活版、印刷所福岡市黎明社本店、奥付まえ頁に「昭和二年十月／第一学年第二学期ヨリ／堀部教授／@1. 30」とペン手書き
*	商品実験 昭和三年版	長崎高等商業学校商品学研究室編	*	*	87p	ガリ版、製本	1	印行福岡黎明社
*	商品実験 昭和貳年版	長崎高等商業学校商品学研究室編	*	1927.5.1	94p	ガリ版、製本	1	奥付あり、表紙のみ活版、印刷所福岡市黎明社
*	経済史講義 第一学期	教授経済学博士田崎仁義	*	1925.4.18巻頭一言	219p	活版、製本	2	表紙に「長崎高等商業学校第一学年用」と印字、1冊の裏表紙に「長崎高商／分島始平」と手書き、1冊は後欠
*	手形法講義案(一)	堀部靖雄講述	*	*	96p	活版、製本	1	*
*	取引所講義	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	*	116p	ガリ版、製本	3	表紙のみ活版
*	取引所論	長崎高等商業学校教授 塚原仁講述	*	1939.10	101p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版
39冬1933	昭和八年 支那時文講義 長崎高商	担任長畑教授	*	*	122p	ガリ版、紐綴じ	2	1冊は仮表紙に「第卅九回冬期」と筆手書き
40春1933	財務数学	長崎高等商業学校教授 山本恭次郎	*	*	170p	ガリ版、紐綴じ	3	1冊の仮表紙に「昭、八、春期」と手書き、2冊の仮表紙に「第四十回、春期」と手書き
*	信託経営論	長崎高等商業学校教授 奥田唯輔講述	*	1938.10	67p	ガリ版、製本	2	*
*	外国為替	長崎高等商業学校教授 奥田唯輔講述	*	1939.4	21p	ガリ版、製本	2	*
*	商法総論 昭和四年度講義	*	*	*	77p	ガリ版、製本	2	印行黎明社

*	商法講義(総則・会社・手形篇)	*	*	*	418p	活版、製本	1	裏表紙見返しに「昭和五年四月／単式印刷／重誠舎」と手書き
*	商法講義 第二卷 昭和九年度	堀部靖雄講述	*	*	268p	ガリ版、製本	1	*
*	心理学講義 昭和八年度	不破祐俊述	*	*	72p	ガリ版、製本	1	*
40春1933か	商品学 第四十四回 春期夜学講習	浅野教授述	*	1933.5	69p	ガリ版、講習	3	*
29秋1929	海上保険	長崎高等商業学校勝呂弘講述	*	*	180p	ガリ版、講習	1	仮表紙に「昭和四年十月／第二十九回」と手書き
57冬1939	海上保険論	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	1939.3	48p	ガリ版、厚紙	3	1冊は後欠、資料はさみこみ、厚板紙表紙に「昭和十四年二月」と手書き、2冊は厚板紙表紙に「昭和十四年三月／第五十七回冬期」と手書き
55春1938	保険総論	長崎高等商業学校教授勝呂弘講述	*	1938.6	113p	ガリ版、厚紙	3	2冊は厚板紙表紙に「昭和十三年／第五十五回春期」と手書き
69冬1943	大東亜共栄圏経済事情	長崎高等商業学校教授渡辺久雄講述	*	*	10p	ガリ版、修了ホチキス	3	仮表紙に「昭和十八年二月(第六十九回冬期)」と手書き
36冬1932	会計学要論	長崎高等商業学校教授飯田静次郎講述	*	1932.2	92p	ガリ版、紐綴じ	1	*
*	海上保険講義 第二卷	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	*	386p	ガリ版、製本	1	表紙見返しに「長崎高等商業学校／第三学年五組飯口広松」「9/1/15」「¥1.20」とペン手書き、印刷長崎市蛍明社
*	帝国憲法講義 完	長崎高等商業学校教授阿部三四講述	*	1928.4.15	272p	ガリ版、製本	1	奥付あり、印刷所福岡市黎明社本店、奥付まえ頁に「昭和3年4月／阿部教授／三年随意科／県立高女高等科三年生／85冊印刷／売価¥1.90」と手書き
*	社会政策序論	長崎高等商業学校教授田崎仁義講述	*	*	52p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版、最終頁つぎに「152部／@30銭／田崎教授／昭和二年第二学期／選択科／145人」と手書き
33冬1931	銀行経済	長崎高等商業学校教授奥田唯輔講述	*	1931.2	75p	ガリ版、紐綴じ	1	*
*	長崎高等商業学校研究館概況	編輯所長崎高等商業学校研究館	編輯兼発行者長崎高等商業学校研究館伊藤久秋	1936.8.15	23p	活版、製本	1	奥付あり
*	憲法綱要	長崎大学助教西口照男	有信堂 東京都文京区森川町	1955.4.25	8, 24 8p	活版	1	奥付あり
*	海運	東京商科大学教授商学工堀光亀講述	東京高等商業学会	*	149p	活版	1	表紙に「堀教授／海運」と筆手書き
*	生死現象に於ける季節的変動に就て	塚原仁	*	1940.3	26p	活版、製本	1	商業と経済第二十年第二冊別冊
*	STATISTICS AND THEIR APPLICATION TO COMMERCE	LESTER BODDINGTON	*	1928.5	100p	ガリ版、修了	2	*



27冬1929	財務数学	山本教授講述	*	*	118p	ガリ版、講習	1	仮表紙に「昭和四年一月／第廿七回冬期」と手書き
27冬1929	損益会計論講義要領	高畑教授述	*	*	62p	ガリ版、講習	1	仮表紙に「昭和四年一月／第廿七回冬期」と手書き
*	海上運送論 下巻	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	1928.4.22	597p	ガリ版、製本	1	奥付あり、印刷所福岡市黎明社本店
*	海上保険講義 第叁巻	長崎高等商業学校教授今村有講述	*	*	333p	ガリ版、製本	1	*
19春1926	憲法講義 未完	長崎高等商業学校教授阿部三四講述	*	*	206, 2p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版、「憲法講義」と印字、表紙に「第十九回春期夜学講習」「保存」と手書き
20秋1926	会社法 完	島本英夫講述	*	*	239p	ガリ版、製本	1	表紙のみ活版、「憲法講義」と印字、表紙に「第十九回春期夜学講習」「保存」と手書き商法講義(会社篇)と印字、表紙に「第廿回秋期夜学講習」「保存」と手書き
*	被害船舶の修繕を繞る保険問題	勝呂弘	*	*	103p	活版	1	商業と経済第十三巻第二号第十四巻第一号抜刷、表紙に「長崎高商／9. 5. 17／研究館」のスタンプ
*	海上保険成立期に関する諸学説の吟	教授勝呂弘	*	1934.9	43p	活版	1	商業と経済第十五年第一冊別刷、表紙に「長崎高商／9. 9. 11／研究館」のスタンプ
*	英米法に於ける暖簾と其の譲渡及び競争制限	堀部靖雄	*	1936.9	43p	活版	1	商業と経済第十七年第一冊別刷
*	体性構成の変化と出生減退に就て	塚原仁	*	*	34p	活版	2	抜刷
*	市街鉄道	長崎高等商業学校教授武藤長蔵	*	*	25p	活版	1	大日本百科辞書編輯所編纂経済大辞書(同文館発行)抜刷
22春1927、30冬1930か	商用書翰十講 完	野崎辰巳述	*	*	70p	ガリ版、製本	1	*
*	長崎の寺町	長崎高等商業学校教授武藤長蔵	*	1934.3	18p	活版、製本	1	「社会経済史学」第三巻第十一号別刷
*	大正十一年三月欧米列強之高等商業学校及商科大学教育制度調査 長崎高等商業学校	*	長崎高等商業学校	1922.3	—	活版	2	奥付なし、表紙に「保存」の手書きと「長崎高等商業学校研究館印」のスタンプ
*	特別調査第一回報告 労働時間及幸福増進制度調査 長崎高等商業学校研究館	編輯所長崎高等商業学校研究館	編輯兼発行者長崎高等商業学校研究館内伊藤久秋	1922.12.28	—	活版	2	1冊の表紙に「保存」の手書きと「長崎高等商業学校研究館印」のスタンプ

*	創立二十周年記念 講演及論文集	編輯人高畑得四郎	発行所長崎高等 商業学校同窓会	1926.1.25	—	活版	2	1冊の表紙に「保存」の手書きと「長崎高商／15. 1. 25／研究館」「長崎高等商業学校研究館印」のスタン プ
	>講演 木村重治 「開会の辞」、田崎 仁義「社会史政治史 及経済史上より現代 支那を論ず」、武藤 長蔵「商業教育及商 業学科の史的回顧 と長崎」、田崎慎治 「商業学の研究及教 授法に就て」				—	—	*	
	>論文 伊藤喜代 治「日支経済的提携 論」、七条保友「経 済史上より我国の粗 製濫造を論ず」、宮 本忠勝「如何にして 我国人口問題を解 決すべきか」、大木 豊「日支経済的提携 論」				—	—	*	
*	長崎高等商業学校 三十年史	*	*	序言1935.9	—	活版	2	1冊は表紙欠
*	資料目録(二)昭和 十二年十月 長崎 高等商業学校研究 館	編輯所長崎高等商業学 校研究館	編輯兼発行者長 崎高等商業学校 研究館伊藤久秋	1937.10.1	—	活版	5	
*	資料目録 昭和七 年七月 長崎高等 商業学校研究館	編輯所長崎高等商業学 校研究館	編輯兼発行者長 崎高等商業学校 研究館伊藤久秋	1932.7.15	—	活版	13	
*	昭和十二年八月 長崎高等商業学校 図書館要覧	編輯所長崎高等商業学 校図書課	編輯兼発行者長 崎高等商業学校 図書課飯田静次 郎	1937.9.10	18p	活版	1	

*	大正十五年一月 社交儀礼一斑 長 崎高等商業学校	*	*	*	16p	活版	1	
*	南洋諸島視察旅行 報告 最近の爪哇 事情	長崎高等商業学校教授 伏見義夫	*	*	86p	活版	1	
*	日本を繞る最近の 国際情勢	外務省情報局第三課長 外務書記官佐藤忠雄氏 述	長崎高等商業学 校	*	49p	活版	2	表紙に「長崎高商／10. 11. 18／研究館」のスタン プ
*	商業教育上特に研 究を要する若干の 問題に就て	神戸商業大学長田崎慎 治氏講演	長崎高等商業学 校	1934.10.31	37p	活版	1	表紙に「実業教育五十周年記念講演」と印字、「長崎 高商／10. 1. 26／研究館」のスタンプ
*	昭和十一年八月 長崎高等商業学校 研究館概況	編輯所長崎高等商業学 校研究館	編輯兼発行者長 崎高等商業学校 研究館伊藤久秋	1936.8.15	2, 23p	活版	6	